

# ふれあい センター

## 離農を機に多額の寄付



9月13日、町内10区の山城繁次さん、茂子さんが来庁し、本町の振興発展のため150万円の寄付がありました。長年農家を営まれ、このたび離農することになったのを機に山城繁次さんからは「妹背牛町の先進的な農業振興のために使ってください」と100万円が、山城茂子さんからは「社会福祉のためにお役にしてください」と50万円が寄付されました。寄付金を受け取った田中町長は、「ご寄付の意志に沿うよう大切にさせていただきます。」と感謝を述べました。

## 民生委員が視察研修



全国各地で多発している児童虐待や育児放棄などへの対応策を学ぼうと、妹背牛町民生委員が、9月13日旭川育児院（多田傳生院長）を訪れ視察研修を行いました。

多田院長には、広報7月号の「子育て特集」で、豊富な経験に基づいたご寄稿を頂いています。この日は、同院長が児童相談所勤務などで体験した事例をもとに、現代の子どもたちがおかれている環境や問題点についての講話を受けたあと、育児院の施設や子どもたちの暮らしぶりなどを視察しました。

## 楽しくお食事会

9月11日、うらら公園バーベキュー会場で、一人暮らしのお年寄りを招いてみんなで楽しいひと時を過ごしてもらおうと、わかち愛食事会が行われました。会の冒頭、田中町長から「先日妹背牛町でも地震による長時間の停電という被害を受けました。またいつこのような災害が起こるかわかりませんが、みなさんでわかちあいの心をもって乗り越えましょう」と挨拶。66名の参加者のみなさんは七輪を囲み、お話に花を咲かせながらジンギスカンやホタテなどに舌鼓を打っておられました。



## 元気いっぱい保育所運動会

8月25日認定こども園妹背牛保育所の運動会が、雨天のため急遽農業者トレーニングセンターに会場を移して開催されました。

かけっこやお遊戯、親子で取り組む「恐竜ピックパンツレース!」、玉入れなどのプログラムが次々に行われ、応援席の家族から盛んな声援が送られていました。閉会式では田中町長から園児一人ひとり金メダルを首にかけてもらうと園児たちはみなご満悦の表情。会場内には元気いっぱいの歓声が響き、夏の終わりの楽しい一日を過ごしていました。



## 全国書道コンクール最高賞受賞



妹背牛小3年の宇野<sup>けんしん</sup>絢真くんが第49回全国書道コンクールの小学3、4年生硬筆の部で最高賞を受賞しました。妹背牛書道教室の主宰である松田さんによると、宇野くんの普段は元気いっぱい遊ぶのが大好きだけれど、書き始めると持ち前の集中力、観察力を存分に発揮し丁寧に書き上げるのだそうです。コンクールに参加した小学3~4年生約1160人のなかで1番に輝いた宇野君は「来年は毛筆で最高賞をとりたい」と意気込みを語ってくれました。

## 秋の夕暮れ、街歩きを楽しむ



夕暮時の街並みを散策しながら、屋台のグルメやイベントなどを楽しんでもらおうと、毎年恒例の「遊歩市」が、9月8日市街地目抜き通りで開催されました。

今回は商工会員や有志による屋台が24件出店し、うち4カ所で胆振東部地震への支援の募金も行われました。「イベントひろば」では抽選会やバンド演奏などが行われ、街はいつにない賑わいに包まれていました。

## ノリノリのダンス披露



9月1日、妹背牛中学校学校祭が行われました。当日、校内にはこの日のために飾り付けられた装飾、集団制作が並び、体育館では出し物が行われました。個性豊かな演技で、観客をひきつけた演劇や、有志発表では3年生が息の合ったダンスを披露。生徒会執行部によるクイズ大会も行われました。お昼には縁日、午後からは合唱コンクールが行われ、学校祭は大盛況のうちに幕を閉じました。